

フルサイズミラーレスカメラ“EOS R6 Mark II”を発売 進化した高性能 AF・高速連写や多彩な動画表現により撮影領域を拡大

キヤノンは、ハイアマチュアユーザーや映像クリエイターから求められる静止画・動画の高い撮影性能や通信性・拡張性を兼ね備えたフルサイズミラーレスカメラ“EOS R6 Mark II”を 2022 年 12 月中旬に発売します。



EOS R6 Mark II
* RF24-105mm F4 L IS USM 装着時



充実の被写体検出機能
新たに馬などの被写体に対応



動画撮影のニーズにも対応
* RF24-105mm F4 L IS USM / DM-E1D 装着時

“EOS R6 Mark II”は、静止画・動画の撮影性能を追求し、多彩な表現を可能にするミラーレスカメラです。新たに馬・鉄道・飛行機（ジェット機・ヘリコプター）に対応した被写体検出機能^{*1}をはじめ、進化した高速連写や強力な手ブレ補正、用途に応じたさまざまな動画撮影機能などにより、静止画・動画撮影の幅広いニーズに対応します。

1. 新開発の CMOS センサーや強力な手ブレ補正などにより多様な撮影シーンで高画質を実現

新開発の有効画素数最大約 2420 万画素^{*2} フルサイズ CMOS センサーと、映像エンジン「DIGIC X」により、高い解像感と常用最高 ISO102400（静止画撮影時）の高感度を両立しています。また、ボディ内 5 軸手ブレ補正機構を搭載しており、レンズ内光学式手ブレ補正機構を搭載した RF レンズとの協調制御により、最高 8.0 段^{*3}の手ブレ補正効果を発揮します。

2. 決定的な瞬間を捉える先進の高性能 AF や高速連写

「EOS iTR^{*4} AF X」により、優れた被写体検出性能とトラッキング性能を実現しています。新たに馬・鉄道・飛行機（ジェット機・ヘリコプター）が被写体検出機能に追加されたことで、「人物」では人の瞳・顔・頭部・胴体、「動物優先」では犬・猫・鳥・馬の瞳・顔・全身、「乗り物優先」ではモータースポーツの車とバイク・鉄道・飛行機（ジェット機・ヘリコプター）の全体・スポット検出に対応しています。また、被写体の検出対象をメニューで切り替えることなく、カメラが自動で被写体を選択する「自動」設定を新たに追加しています。さらに、メカシャッター／電子先幕による撮影時は、AF/AE 追従で最高約 12 コマ/秒、電子シャッターによる撮影時は、AF/AE 追従で最高約 40 コマ/秒の高速連写^{*5}が可能です。

3. 多様化する制作ニーズに応える動画性能

クロップなしの 6K オーバーサンプリングによる 4K/60P 動画撮影や、フル HD/180P ハイフレームレート動画撮影を実現しています^{*6}。さらに、キヤノン独自のガンマ特性「Canon Log 3」や RAW 動画の外部記録に対応するなど、用途に応じた動画記録方式により、多様化する動画制作のニーズに応えます。

※1. 被写体によっては検出できないことがあります。また、対象ではない被写体を検出する場合もあります。

※2. 総画素数約 2560 万画素。使用するレンズまたは画像処理により、有効画素が減少することがあります。

※3. 「RF24-105mm F4 L IS USM」（2018 年 10 月発売）使用時。f=105mm。Yaw/Pitch 方向、CIPA 規格準拠。ボディ内 5 軸手ブレ補正機構とレンズ内光学式手ブレ補正機構の協調制御に対応するレンズについては、キヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※4. intelligent tracking and recognition

※5. 連続撮影速度の条件およびサーボ AF 時に最高連続撮影速度に対応するレンズについては、キヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※6. 4K/60P は 4K UHD（59.94fps/50.00fps）、フル HD/180P はフル HD（179.82fps/150.00fps）。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS R6 Mark II	オープン価格	2022 年 12 月中旬

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002
 - EOS ホームページ : canon.jp/eos

〈“EOS R6 Mark II”の主な特長〉

1. 新開発の CMOS センサーや強力な手ブレ補正などにより多様な撮影シーンで高画質を実現

- 新開発の有効画素数最大約 2420 万画素フルサイズ CMOS センサーと、映像エンジン「DIGIC X」により高い解像感と高感度を両立し、高画質を実現。
- 静止画撮影時に常用で最高 ISO102400 の高感度撮影を実現。
- ボディー内 5 軸手ブレ補正機構を搭載し、手ブレの発生しやすい環境でも快適な撮影を実現。さらに、レンズ内光学式手ブレ補正機構を搭載した RF レンズ装着時は、カメラとレンズそれぞれの手ブレ補正機構が協調することで、最高 8.0 段の手ブレ補正効果を発揮。
- 従来の「HDR PQ」方式での静止画／動画記録や、高速でブラケット撮影を行い、カメラ内で 3 枚の写真を 1 枚に合成する「HDR モード（D レンジ優先）」に加え、「HDR モード（動体優先）」^{※1}を新たに搭載。人物や動物、乗り物などの動体に対しても、1 枚で広いダイナミックレンジで記録することが可能。
- レンズの収差などを補正し、解像感を向上する「デジタルレンズオプティマイザ」に対応。解像感に加え、質感や立体感の表現力も向上。
- Windows 版の「Digital Photo Professional」で使用できる新サービス「Neural network Image Processing Tool（有償）」^{※2}に対応。ディープラーニング技術を用いた画像処理技術により、従来のデジタルレンズオプティマイザや周辺光量補正などの補正機能に加えて、高度なノイズリダクションや収差補正など、より高画質を追求した現像処理が可能。



ISO102400 の高感度撮影

※1. HDR モード（動体優先）設定時は、ISO 感度の下限が ISO800 になります。RAW 撮影および「メカシャッター」の選択はできません。「電子シャッター」を選択時は、ローリングシャッター歪みにより被写体の歪みが大きくなる場合があります。

※2. 「Digital Photo Professional」で本サービスを使用するにはあらかじめ「Canon Imaging App Service Plans」からプラン購入が必要です。

2. 決定的な瞬間を捉える先進の高性能 AF や高速連写

- 「デュアルピクセル CMOS AF II」により、広範囲で追従性に優れた高速・高精度な AF を実現。
- 新たに馬・鉄道・飛行機（ジェット機・ヘリコプター）が被写体検出機能に追加されたことで、「人物」では人の瞳・顔・頭部・胴体、「動物優先」では犬・猫・鳥・馬の瞳・顔・全身、「乗り物優先」ではモータースポーツの車とバイク・鉄道・飛行機（ジェット機・ヘリコプター）の全体・スポット検出に対応。ディープラーニング技術を活用し、さらに進化した「EOS iTR AF X」により、優れた被写体検出性能とトラッキング性能を実現。
- 被写体の検出対象をメニューで切り替えることなく、カメラが自動で被写体を選択する「自動」設定を新たに追加。
- メカシャッター／電子先幕による撮影時は、AF／AE 追従で最高約 12 コマ/秒の高速連写が可能。
- 電子シャッターによる撮影時は、AF／AE 追従で最高約 40 コマ/秒の高速連写を実現。
- フルサイズ CMOS センサー搭載の EOS シリーズで初めて、「RAW バーストモード^{※1}」を搭載。電子シャッター、RAW 記録による最高約 30 コマ/秒、AF 追従の連続撮影^{※2}を実現。また、シャッターボタンを押す直前（約 0.5 秒前）から記録を開始する「プリ撮影」にも対応。



馬の顔検出のイメージ



飛行機（ジェット機）のスポット検出のイメージ

※1. 被写体や撮影条件によっては、ローリングシャッター歪みが発生する場合があります。

※2. 14bit RAW（キヤノン独自、12bit A/D 変換）となります。AE は 1 コマ目固定となります。

3. 多様化する制作ニーズに応える動画性能

- クロップなしの 6K オーバーサンプリングによる高画質な 4K/60P 動画撮影を実現。
- クロップなしのフル HD/180P ハイフレームレート動画撮影に対応。再生時 1/6 倍速の印象的なスロー効果をフルサイズの画角で実現。
- キヤノン独自のガンマ特性「Canon Log 3」に対応。従来の「Canon Log」よりもハイライトの階調が飛びにくく、コントラストの高いシーンでも豊かな階調表現が可能。
- HDMI 端子から映像信号を出力し、6K/60P RAW (10bit) および 3.7K/60P RAW (12bit) 動画を外部レコーダーに記録可能^{※1}。
- 「CINEMA EOS SYSTEM」で搭載しているプレ記録機能を「EOS R システム」で初めて搭載。記録開始の 5 秒前もしくは 3 秒前から動画を記録することが可能。
- 30 分以上の連続撮影が可能。最長 6 時間^{※2}まで記録することができ、長尺の撮影にも対応。
- フォーカシングによる画角の変化を光学設計値に基づいてカメラが補正するフォーカスブリージング補正^{※3}に対応。フォーカスブリージングを抑えた高品位な動画撮影を実現。
- 映像の露出状態を可視化するフォルスカラー機能^{※4}を搭載。画面内の各部分の露出をすぐに把握でき、撮影の効率化を実現。
- 画面上に、動画撮影中であることを示す赤い枠を強調して表示することが可能。自分撮りをしながらでも、撮影ができていないかの確認が容易。



フォルスカラー機能の表示イメージ

- ※1. 6K/60P は 6K RAW (59.94fps/50.00fps)、3.7K/60P は 3.7K RAW (59.94fps/50.00fps)。外部レコーダーは ATOMOS 社製「Ninja V+」に対応。撮影環境によってはレコーダーが高温になる場合があります。ご注意ください。
- ※2. フル HD (179.82fps/150.00fps) 時は最大 1 時間、フル HD (119.88fps/100.00fps) 時は最大 1 時間 30 分となります。カメラの温度上昇、電源、エラーなどの要因による自動停止を除きます。
- ※3. フォーカスブリージング補正機能を使用すると画角が狭くなります。対応レンズについてはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。
- ※4. HDMI 出力先にはフォルスカラー表示は行われません。

4. 快適な撮影をサポートする通信性・拡張性

- UVC (USB Video Class) / UAC (USB Audio Class) に対応し、ウェブカメラとして使用可能。ストリーミング配信やリモート会議で、フルサイズカメラならではの高画質な映像やレンズのボケ味を生かした映像の配信を実現^{※1}。
- Wi-Fi / Bluetooth® によるスマホとの無線接続に対応^{※2}。Wi-Fi 接続では 2.4GHz 帯に加え、5GHz 帯の無線 LAN 規格に対応し、高速な画像転送を実現^{※3}。
- スマホとの有線接続^{※4}にも対応。キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」をインストールすることで、スマホからのカメラ操作だけでなく、カメラからスマホへの画像の自動転送も可能。
- カメラまかせで全自動撮影ができる「シーンインテリジェントオート」や、撮影モードを選ぶだけで撮影に適した機能が自動設定される「スペシャルシーンモード」などの機能に対応し、エントリーユーザーにも扱いやすい操作性を実現。



ウェブカメラとしての使用イメージ

- ※1. カメラ内のメモリーカードへの記録は行われません。長時間使用する場合、別売りの「AC-E6N」および「DR-E6」の使用をお勧めします。
- ※2. Bluetooth Low Energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が iOS / Android™ :Bluetooth 4.0 以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができない場合があります。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の転送、リモート操作は可能です。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラとスマホをペアリングしておく必要があります。カメラとスマホの Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要です。
- ※3. スマホが 5GHz 帯の無線 LAN 規格に対応している必要があります。
- ※4. USB 通信には別途ケーブルが必要です。また iPhone への有線転送には通信に対応したケーブルが必要です。

〈商品構成（キット内容）〉

名称	内容
EOS R6 Mark II・ボディ	EOS R6 Mark II
EOS R6 Mark II・RF24-105 IS STM レンズキット	EOS R6 Mark II RF24-105mm F4-7.1 IS STM
EOS R6 Mark II・RF24-105 L IS USM レンズキット	EOS R6 Mark II RF24-105mm F4 L IS USM

〈レンズ交換式カメラの市場動向〉

2021 年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約 540 万台となりました。2022 年は、約 545 万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/eos/lineup/r6mk2/>

- * HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- * USB Type-C™および USB-C™は USB Implementers Forum の商標です。
- * Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- * Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- * IOS は、米国およびその他の国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- * Android は Google LLC の商標です。
- * その他、記載されている会社名、製品・サービス名は一般に各社の商標または、登録商標です。